



注: 以下は 2011 年 4 月 4 日に米国で発表されたリリースの翻訳です。

## ファイザー、KKR にカプセル社を売却

KKR: 医薬品カプセル、DDSにおける世界トップ企業への投資

ファイザー: カプセル事業売却で戦略見直し完了

**米国ニュージャージー州ピーパック** – ファイザーとコールバーグ・クラビス・ロバーツ & Co (関連企業を含め以下「KKR」)は本日、KKRがファイザー傘下のカプセル事業を現金23億7,500万米ドルで買収することで合意したことを発表しました。カプセル社は、ハードカプセルにおける世界的なリーダーであるとともに、DDS(ドラッグデリバリーシステム)の先駆的企業です。2010年度の売上高はおよそ7億5,000万米ドル、ハードカプセルの生産量は1,800億個以上でした。

カプセル社の社長兼ジェネラル マネージャーであるギド・ドリーセンは次のように述べています。「本件は、今日までの当社のたゆまぬ成功実績とともに、将来に向けた当社の成長力をKKRに認めていただいた証です。KKRは、深い業界知識を備え、市場をリードする企業と協業しながら新たな成長ステージへと導いていくことのできるグループです。私を含め、当社社員は KKRと協業できることを大いに歓迎するとともに、今後も引き続きお客様に対して優れた付加価値を提供してまいります」。

KKRでは、過去 34 年間で185 件以上の投資案件を手掛け、その投資額は 4,350億米ドルに上っています。現在のプライベート・エクイティの投資先企業は60社を超え、それら企業の合計年間売上高は2,100億米ドル、従業員数は90万人以上です。

KKR共同創業者・共同会長・共同CEOのヘンリー・クラビスとジョージ・ロバーツは以下のようにコメントしています。「カプセル社は優れた事業ポートフォリオを備えていると同時に質の高い革新的なドラッグ・デリバリー・ソリューションの提供において卓越した評価を獲得しています。今後、カプセル社の優秀な社員の皆様と共に協業していくことを楽しみにしています。将来にわたり成長と発展を続け、他社の追従を許さぬ高品質の製品を提供していくという皆様の熱意を私たちも共有しています」。

本件が年内に完了することを前提に、ファイザーは年内に普通株式の自社株買いを追加実施する予定です。カプセル事業売却資金で実施される自社株買いは、既に発表済の総額約50億米ドル分の自社株買いとは別に実施されます。ファイザーでは今後も引き続き、新たな事業開発を含め事業価値最大化に向けた様々な投資機会を探っていく意向です。

本件の結果、ファイザーは既に発表済の2011年度売上見込みを660億～680億米ドルのレンジから652億～672億米ドルのレンジに、2012年度売上見込みを630億～655億米ドルから622億～647億米ドルに修正します。2011年度および2012年度の他のすべての業績見直しに変更はありません。

本件完了後もカプセル社は引き続き米国ニュージャージー州を世界本部とします。現在同社に勤務しているファイザーの社員は、本件完了後にギド・ドリーセンが率いるカプセル社に移籍します。

本件は、米国やEUなどにおける規制当局の承認を含む契約完了に必要な諸条件を満たすことを前提に、2011年第3四半期に完了する予定です。

本件におけるファイザーのファイナンシャル アドバイザーは Morgan Stanley & Co. Incorporatedおよび Guggenheim Securities, LLC、リーガル・アドバイザーは CadwaladerおよびWickersham & Taft LLPおよびWhite & Case LLPです。KKR のリーガル・アドバイザーは Simpson Thacher & Bartlett LLPです。

### カプセル社について

ハードカプセルにおける世界的リーダーであるとともに製薬、OTC薬品、健康食品業界におけるDDS(ドラッグデリバリーシステム)の革新企業として知られており、ハードゼラチンカプセル、植物カプセル、液体カプセルから革新的な研究開発用設備・機器および Licaps® Drug Delivery System の一部である液体製剤まで、総合的な範囲を網羅した製品とサービスを提供しています。詳細は[www.capsugel.com](http://www.capsugel.com) をご覧ください。

### ファイザーについて

ファイザーでは、あらゆるライフステージにおける健康と福祉の向上のため、サイエンスと当社の地球規模の経営資源を活用しています。ヒト、動物用の医薬品の発見、開発および製造における品質、安全性、価値に関して高い基準を設ける努力を続けています。当社の多角化したグローバルなヘルスケア製品のポートフォリオには、ヒト、動物用の生物学的製剤および低分子化合物、ワクチンと共に、栄養管理製品や世界でも知名度の高い多くの一般消費者向けの製品が含まれています。毎日の生活のなかで、ファイザーのスタッフは先進国や新興国市場で業務に携わり、今の時代に最も恐れられている病気と闘うため、福祉、予防、治療などの進歩に努めています。世界をリードするバイオ医薬品企業としての責務を果たすべく、当社は医療従事者、政府、そして地域のコミュニティと協力して、世界中で信頼性が高く適切なヘルスケアを支援し拡大していきます。150年以上の間、ファイザーは当社を信頼してくださる全ての方々のために、少しでもよい結果をもたらすことができるように事業に取り組んで参りました。当社の取り組みの詳細は[www.pfizer.com](http://www.pfizer.com) をご覧ください。

### コールバーグ・クラビス・ロバーツ & Co.(KKR)について

会社設立は1976年。ヘンリー・クラビスとジョージ・ロバーツが率いる投資ファーム。運用資産は610億ドル(2010年12月末現在)。世界に14の事務所を構え、あらゆるアセットクラスを網羅する投資ファンドを活用して資産運用を手掛けています。投資先企業に対しては業界および事業オペレーションにおける専門力を駆使して長期的な競争力および成長力の向上、価値創造を目指します。長年積み上げてきた顧客との関係や資本市場のプラットフォームを活用して専門力を高め、投資家との関係を更に強固なものにしています。KKRはニューヨーク証券取引所(NYSE:KKR)に上場しています。詳細情報は[www.kkr.com](http://www.kkr.com) をご参照下さい。

### PFIZER DISCLOSURE NOTICE

The information contained in this release is as of April 4, 2011. Pfizer assumes no obligation to update forward-looking statements contained in this release as a result of new information or future events or developments.

This release contains forward-looking information about an agreement by Pfizer to sell its Capsugel business to KKR; the potential benefits of the transaction, including Capsugel's potential for future growth; and Pfizer's 2011 share-repurchase plans, 2011 financial guidance and 2012 financial targets. Such information involves substantial risks and uncertainties including, among other things, the satisfaction by Pfizer and KKR of the various conditions to closing the agreement, including without limitation the ability to obtain the required regulatory approvals and KKR's ability to obtain the necessary financing to consummate the transaction; and, with regard to Capsugel's future growth potential as well as Pfizer's 2011 share-repurchase plans, 2011 financial guidance and 2012 financial targets, the uncertainties and variables inherent in business operating and financial performance, including, among other things, competitive developments, general economic, political, business, industry, regulatory and market conditions, and the other risks and uncertainties set forth in Pfizer's Annual Report on Form 10-K for the fiscal year ended December 31, 2010 and in its reports on Form 10-Q and Form 8-K.